

令和元年 第10回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 令和元年6月6日(木) 開始時刻 午後1時30分～
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 小堀教育長, 大場委員, 伊藤一委員, 清島委員, 伊藤三千代委員
- 4 説明員 菊池教育次長, 栗原学校教育担当次長, 秋山教育企画課長,
石和総務担当主幹, 増渕生涯学習課長, 山口文化課長,
掛布スポーツ振興課長, 廻谷教育センター所長
- 5 書記 田上課長補佐, 横塚総務担当副主幹, 尾嶋係長, 渡邊総括
- 6 傍聴者 0名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
議案第20号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について

8 議事の内容

教育長

ただいまから、令和元年第10回宇都宮市教育委員会を開会する。
本日の会議録署名委員は、伊藤（一）委員、清島委員とする。

教育長

議案第20号は、「意思形成過程のもの」であるため、非公開としてよろしいか。
（全員賛成）
全員賛成なので、これについては非公開とする。

【非公開審議の開始】

- | |
|--|
| <p>○ 議案第20号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出
について
⇒ 決定</p> |
|--|

【非公開審議の終了】

教育長

以上で議事は終了となる。
その他委員の皆様から何かご意見などあるか。

伊藤（一）委員

最近テレビ等で高齢の引きこもりの問題が出ている。そういった関係で、教育委員会で対策をとるとすると、生涯学習課の図書館等の活動があると思う。引きこもりの方々を把握する家族の会のようなものはあるのか。もしあるなら、連絡等はあるのか。連絡が取れるなら、外に出ることが怖くないという何らかのアプローチができるのではないか。そうすると、次は地域、図書館、コミュニティーセンター等が機能してくると思う。そのことについて教えていただきたい。

生涯学習課長

引きこもりについての所管は、青少年自立支援センターである。中央生涯学習センターの4階に「ふらっふ」という名称で活動しており、引きこもりの家族が相談に来ている。また、月の家等を請け負っている中野さんという方が、国から委託を受けて自立支援の活動している。生涯学習課でも、いつでも協力していきたいと考えているが、図書館を利用した活動の実例は未だ無い。現在は農作業等の活動で、引きこもり解消に取り組んでいると聞いている。引きこもりの人数については、所管課に確認して回答したい。

伊藤（一）委員

かなり繊細な話なので、各家庭の実情を把握できたとしても、どこまで情報としてまとめていいのかという問題もあると思う。そもそも引きこもりにアプローチすること自体が難しいということもあるかもしれないが、人と接するのは嫌でも、図書館で本を読んで心が解放されるということもあるのではないか。青少年自立支援センターだけではなく、教育委員会としても、それに関心を持って取り組んでいかないといけない。

大場委員

いま年齢の高い方の引きこもりがニュースになっている。それは元を正すと、不登校の子どもたちがそうなるのではないかと思う。教育委員会で不登校の対策により力を入れて欲しい。また、親が長男を殺害する事件で、親御さんが息子さんの相談をどこにもしていなかったということだが、宇都宮市の相談体制

教育センター所長	<p>はどうなっているのか教えていただきたい。</p> <p>青少年自立支援センターの「ふらっぷ」と県の引きこもり支援センターの「ポラリス」と教育センターとで連携会議を開いており、情報交換を行っている。情報を共有することで連携を取っている。しかし中学校を卒業してしまうと、その後の把握が難しい。われわれの持っている情報をどううまく「ふらっぷ」や「ポラリス」に引き継いでいくか、個人情報の問題も含めて連携を進めている。中学校卒業までは教育センター、その後の相談機関として「ふらっぷ」や「ポラリス」があるという情報提供をして、相談先に迷わないように、これからも連携を続けていきたい。</p>	
伊藤（一）委員	<p>この間、NHKで準不登校というような番組をやっていた。学校には行けるが教室には入れないという子どもが多数いるという。宇都宮市ではどれくらいの人数がいるのか。</p>	
教育センター所長	<p>別室登校をしているお子さんの数は教育センターで把握している。今年度から中学校25校にはメンタルサポーターをつけていただくことができた。空き教室を使って、別室登校している子どもたちのフォローをしている。小学校は、メンタルサポーターはついていないが、学生ボランティア等を使いながら教室以外の場所での居場所作りを行っている。</p>	
教育長	<p>別室にいる子どもでも専門学校など、少人数で面倒を見てくれる学校でうまく適応できれば、復活できる場合が結構ある。そのあたりの指導が非常に大事だ。</p>	
伊藤（一）委員	<p>その子の個性を見極めることが大事である。メンタルサポーターに期待している。</p>	
伊藤（三）委員	<p>学校に戻すことだけが目的ではなく、その子に最も適した道が見つかるといい。</p>	
教育センター所長	<p>適応支援教室の「まちかどの学校」の卒業式である「旅立ちの会」を毎年行っているが、そこで、卒業する中学校3年生が「まちかどの学校に来てみて、自分と同じように悩んでいる友達や、受け入れてくれる指導員さんたちとの出会いが非常に大きかった。」という話をしている。元気に旅立っていくお子さんたちが多い。卒業後、高校に行って生徒会を頑張っているとか、次のステージに上がった時に力を発揮できるお子さんが確実にいる。これから先、一人で生きていけるようになることが大事であって、今現在つまずいているからすべてが駄目だと言うわけではない。一つ一つがきっかけになるように、学校の居場所作り、また学校に行けなくなった子のための適応支援教室がある。ただ、引きこもってしまった場合は、そのきっかけも無くなってしまうため、指導員とどうやってきっかけを作るか、そしてどう生かすのかということをよく話し合っている。</p>	
教育長	<p>最後に、事務局から連絡事項をお願いします。</p>	
事務局	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="335 1825 1495 1973"> <p>連絡事項説明（教育企画課長補佐）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の教育委員会等の日程について <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月13日（木）午後1時30分～ 教育委員会定例会 </td> </tr> </table>	<p>連絡事項説明（教育企画課長補佐）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の教育委員会等の日程について <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月13日（木）午後1時30分～ 教育委員会定例会
<p>連絡事項説明（教育企画課長補佐）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の教育委員会等の日程について <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月13日（木）午後1時30分～ 教育委員会定例会 		

教育長

以上をもって、本日の委員会を閉会とする。

終了時刻 午後1時56分

署名委員

署名委員
